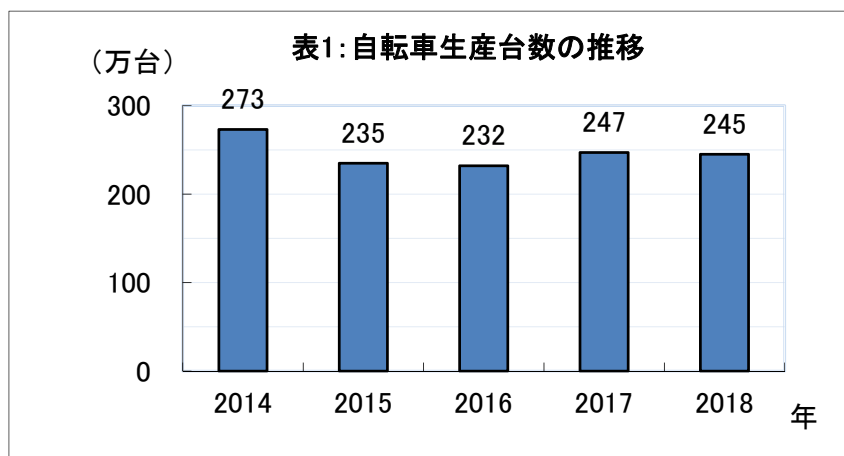


イタリア自転車市況－2018

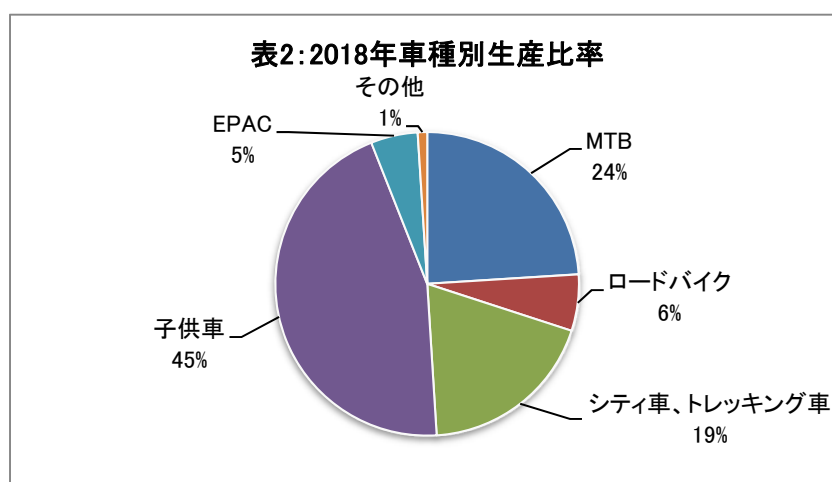
1. 生産

イタリア自転車工業会(ANCMA)によると、電動アシスト自転車(EPAC)を除く一般の自転車(以下、「自転車」と表記)の2018年の生産台数は、前年比0.8%減の245万台となり、ほぼ横ばい状態であった。一方、EPACの生産台数は、同比291%増の10.2万台と大幅に増加し、前年の3倍増近い高い伸びを見せた。

車種別の生産台数比率は、スポーツ車のロードバイクとマウンテンバイク(MTB)、シティ車・トレッキング車は前年と同じだったが、最大の子供車(※幼児車含む)は前年より3ポイント減少した。一方、前年より車種として加えられたEPACは3ポイント増の5%となった。



※上記数値は電動アシスト自転車(EPAC)を除く



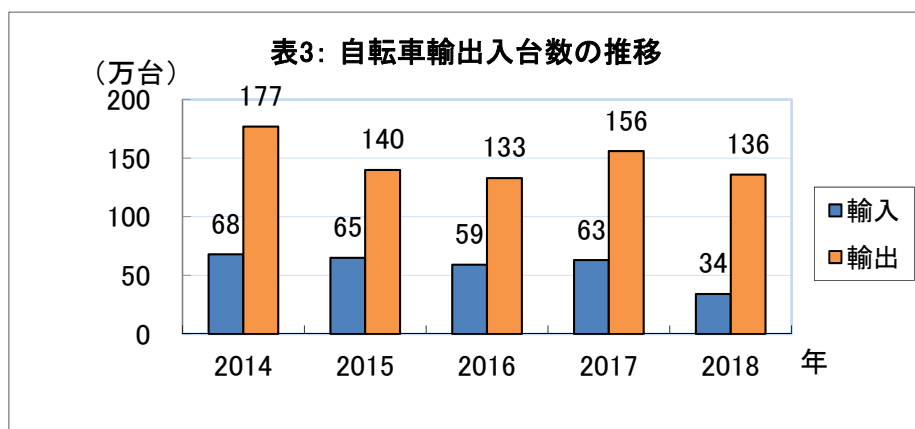
2. 輸出入

2018年の自転車輸出台数は前年比12.8%減の136万台となった。国別輸出先は、フランス向けが76.9万台と依然、最大であり、同国だけで過半数を超える56.4%を占める。次いで

スペイン 16.9 万台、ドイツ 11 万台及びベルギー 7.5 万台は前年同様の順位であったが、ポーランドが 5.4 万台となりクロアチアに代わり上位に浮上した。更にその他の国々を見ても輸出先の殆どは欧州向けである。

2018 年の自転車輸入台数は前年比 46% 減の 34 万台と大幅に減少した。国別輸入元は、中国からの輸入が 5.4 万台で最大であり、次いで台湾 3.6 万台、オランダ 3.3 万台、ルーマニア 3.1 万台及びポルトガル 2.7 万台となり、上位の顔ぶれは大きく変わった。

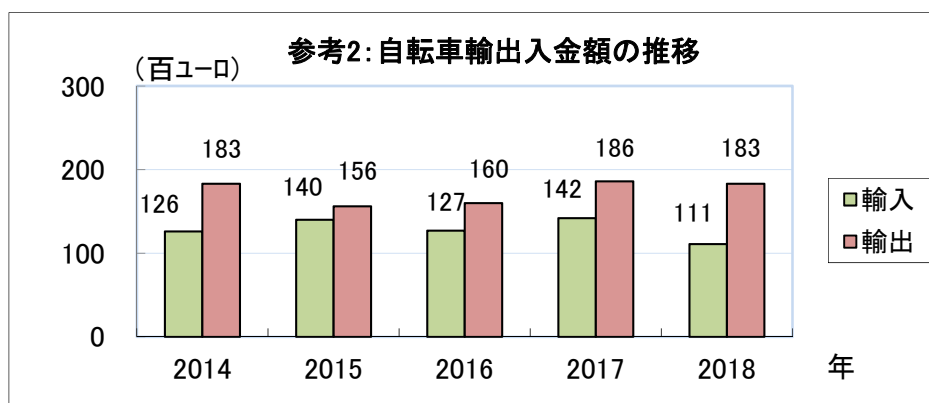
また、2018 年の自転車輸出金額は前年比 1.6% 減の 183 百万ユーロ (220 億円) と僅かに減少したが、同輸入金額は同比 21.8% 減の 111 百万ユーロ (133 億円) に落ち込んだ。



※上記数値は EPAC を除く

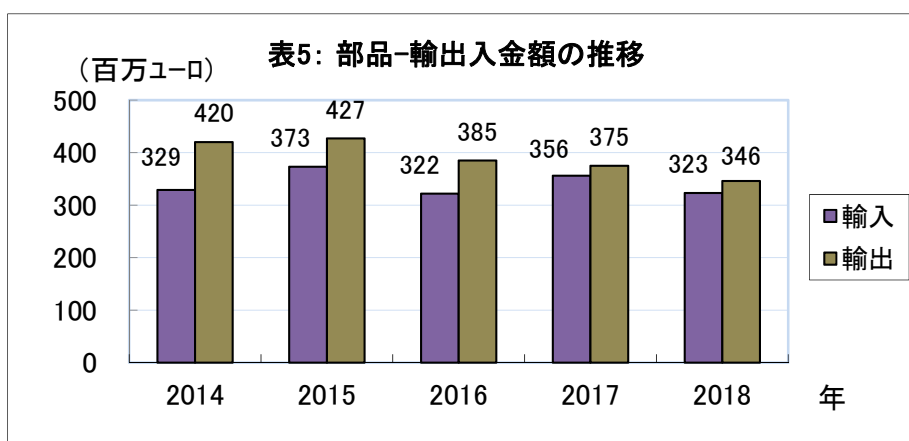
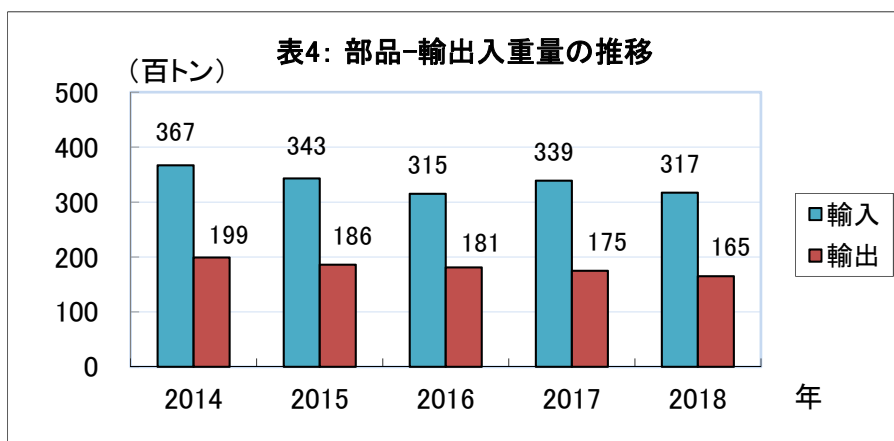
参考1: 2018年自転車輸出入台数上位5カ国

順位	輸 入			輸 出		
	国名	台数(万台)	%	国名	台数(万台)	%
1	中国	5.4	16.1	フランス	76.9	56.4
2	台湾	3.6	10.8	スペイン	16.9	12.4
3	オランダ	3.3	9.9	ドイツ	11	8.1
4	ルーマニア	3.1	9.1	ベルギー	7.5	5.5
5	ポルトガル	2.7	7.9	ポーランド	5.4	4
		33.6	100%		136.4	100%

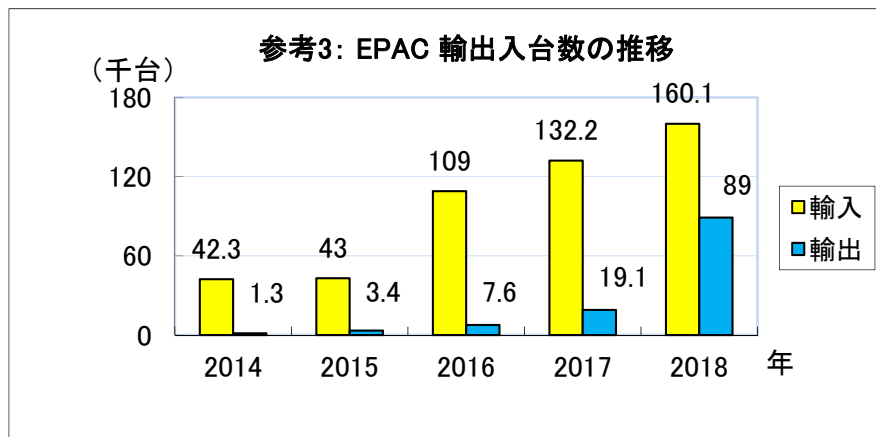


2018年の自転車部品輸出入について、重量ベースで見ると輸出重量は前年比5.7%減の165百トン、輸入重量は同比6.5%減の317百トンとなった。金額ベースで見ると輸出金額は前年比7.7%減の346百万ユーロ(415億円)、輸入金額は同比9.3%減の323百万ユーロ(388億円)であり、部品輸出入は重量と金額共にやや不振となった。

更に地域別に金額ベースで見ると、輸出の7割強が欧州向けであり、北米向けが1割未満、その他が2割程度である。輸入は欧州から3割、中国3割、台湾2割及びベトナムと日本が各1割弱となっている。



2016年に急増したEPACの輸入台数は、2018年は前年比21.1%増の160.1千台と増加が続いている。EPAC輸出台数は同比365.7%増の89千台となり、輸出全体からみればまだ僅かであるが、前年より3倍以上も増加し、特に大きな伸びを見せた。

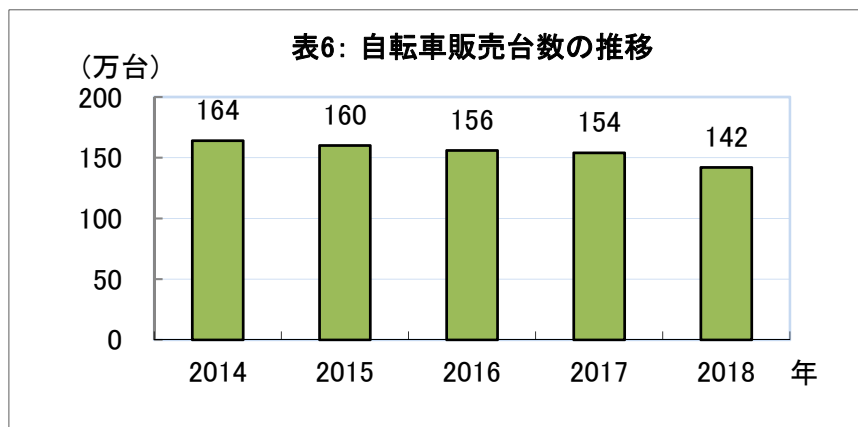


なお、2018年の自転車輸出単価は前年より15ユーロ高い134ユーロ(16,080円)に上昇し、同輸入単価は103ユーロ高い329ユーロ(39,480円)となった。EPACの輸出単価は前年より267ユーロ安い478ユーロ(57,360円)と2年続けて大幅に下がったが、同輸入単価は前年より21ユーロ高い569ユーロ(68,280円)となった。

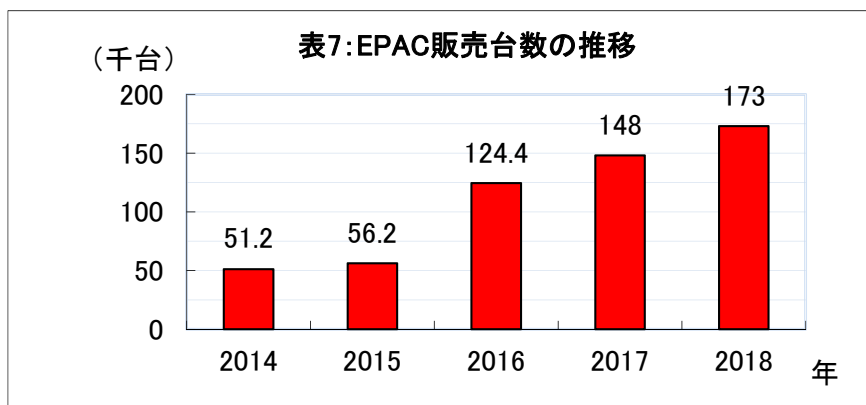
3. 販売

2018年の自転車販売台数は前年比7.8%減の142万台となり、150万台を割り込み2003年以來の数値にまで落ち込んだ。一方、近年大幅に伸びているEPAC販売台数は前年比16.9%増の173千台と順調に増えている。

かつてイタリア市場のEPACは安価な輸入車が多かったが、近年のブーム本格化により、2018年もEPACの生産・輸出入及び販売の全ての数値が伸びた。また、本年1月より中国製電動自転車に賦課されたアンチダンピング及び補助金相殺の両措置による追加関税の影響も加わり、今後も同国EPAC市場は堅調に推移するとANGMAはみており、EPACは高付加価値商品として今後も成長が期待されている。



※上記数値はEPACを除く



E-MTB (Lombardo)



ロードバイク (COLNAGO)

以上

統計出所：ANCMA

写真：EUROBIKE2018にて筆者撮影